

社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)レビューシート

団体名: 特定非営利法人八幡たけくらぶ

訪問調査日: 2013年1月29日(火)

| 評価大項目(分類) | 評価中項目 | 絶対評価コメント | 達成率 |
|--|---------------------------|--|------------------------|
| Ⅰ. 組織ミッション(社会的使命)と事業の推進 | [1]組織ミッション(社会的使命)の確立 | 組織ミッションは定款や法人リーフレット、ホームページ、公益活動ポータルサイト「きょうえん」等を活用し、多様に公開されている。非営利組織としての位置付けが定款・事業計画書・総会資料や決算報告書からも確認できる。組織ミッションを達成するための明確な基幹事業として、放置竹林整備・里山保全活動の推進状況が月別計画「八幡たけくらぶ通信」からも確認できる。 | 20/24 達成率 83% |
| | [2]組織ミッションと事業の策定 | 放置竹林整備事業は、長いスパンで捉えていく必要性の認識からも中長期的なビジョンはあるが、計画書としては策定されていない。単年度事業は、定期的に運営委員会・事務局会議を開催し、組織のプロセスに沿って策定されている状況を確認することができる。 | |
| Ⅱ. 組織と経営管理 | [1]意志決定機関とガバナンス | 意思決定機関として、理事会・総会を設置し適切に開催している他、運営委員会・安全委員会・事務局等が設けられ、ガバナンスが確立していることが組織図からも確認できる。毎月1回事務局会議を開催している。運営上必要となるコンプライアンスの把握や法人内周知の取組みは、今一度精査を行い、具体的な取組みが求められる。法人の経営環境は運営委員会・理事会において把握されており、監事(税理士)による内部監査が行われている。 | 20/33 達成率 61% |
| | [2]適切な財務計画と執行・管理 | 経営的な視点における計画書は策定されていない。助成金事業、自主事業、会費・寄付など多様な財源を得るための努力を行っている状況が見受けられる。監事である税理士と相談の上、税制に関する環境が把握されている。 | |
| | [3]職員と労働環境 | 雇用職員はおらず、项目的には非該当とした。法人として必要または理想とする人材像のイメージをもって、各種講習会などで希望者を募っている。 | |
| Ⅲ. 事務局の執行体制と管理 | [1]組織・事務局体制の確立 | 登記は理事長宅で行っているため、会議等は、地域の交流センター等を活用している。連絡等は専らメールを活用している。男山山頂展望台に活動拠点を設けて、活動の推進を図っている。全部項証明書から法人の登記事項が確認でき、所轄庁への報告等、必要な手続行われている。重要な書類は理事長宅に保管されている状況を確認することができる。さらに、事業報告書・決算報告書については、公益活動ポータルサイト「きょうえん」に掲載されており、確認することが可能である。 | 24/31 達成率 77% |
| | [2]会計全般 | 経理に関する管理規定(細則－会計の処理基準)を設け、ルールに沿って適切に処理が行われている。監事である税理士から必要に応じてアドバイスを受ける体制がある。 | |
| | [3]事業を推進するための体制やルール | 単年度事業計画に基づく積極的な事業の推進状況が見受けられ、多様なステークホルダーと成果を共有していることが「八幡たけくらぶ通信」からも読み取ることができる。安全委員会においては、「ヒヤリハット」事例の検討も行き、会報において報告している。 | |
| Ⅳ. 社会資源の活用 | [1]社会資源(企業/行政/市民など)の連携と活用 | 会員を中心にボランティアの受入れは、継続的に行われている。八幡市里山再生協会等にも所属し、活動している。大学の実習生の受入れもおこなっている。年に1度「八幡市三川合流七夕祭」にも参画し、活動している状況が伺える。 | 10/16 達成率 63% |
| Ⅴ. 情報の公開と社会的信頼 | [1]情報の公開 | 法人の情報は、ホームページや団体リーフレット、「きょうえん」等のデータベース、八幡市情報ネットでの公開が積極的になされている。ホームページの定期的な更新が行われている。 | 12/18 達成率 67% |
| | [2]第三者による評価 | 財団法人郵政福祉近畿地方本部やセブンイレブンからの助成支援実績が確認できる。NHKニュースやKBS京都、京都新聞等多様なメディアによって取り上げられている実績を確認することができる。 | |
| Ⅵ. 組織のリスクマネジメントと社会的責任の追求 | [1]組織のリスクマネジメント | 管理規定等は作成されていないが、重要な書類やデータは、適切に保管している。個人情報に関する取扱い規定等は策定されていない。各事業実施時には、傷害保険をかけて、安全講習会等も実施している。 | 12/18 達成率 67% |
| | [2]組織の社会的責任の追求 | 本来的事業とは別に、新たな市民社会の創造に向けて特筆的な取組みは確認できないが、放置竹林整備活動・里山保全事業等、組織ミッションとする持続的環境の整備事業は高く評価できる。 | |
| 【相対評価(セルフレビュー)／総括コメント】 | | | 98/140 総合達成率 70% |
| <p>当法人は、ボランティア活動からスタートし、その後NPO法人化した組織であり、すべてボランティアによる活動で行っています。行政・企業との係わり(委託事業等)も特になく、活動趣旨に賛同して集まった方々と組織のため、すべて合議制(会議等による)で実施しております。したがって会員ものびのびと前向きな意見を述べる前向きな組織と自負しています。①会員相互のコミュニケーション②会運営のあり方の明確化③活動の意義と方向性の明確化④役割分担とその纏め方の明確化を実践し、大切にしています。現在のところ、お互いの損得意識がないため、なごやかで、前向きな意見も多く充実しています。会の趣旨に賛同して、入会してくれる方が増えていることと、今後定年退職者が増すと予想されるので(会員の増員が見込めるので)、現状組織の充実を行うことを意識しています。資金確保、特に管理費の確保に課題があると考えています。活動メンバーの性質上、収益性を高める活動を増やすと、賛同者が減りますが、会の運営のためには最低限の資金が必要です。活動資金は助成金等活用することが出来ますが、会運営の資金の調達手段がなく、寄付に頼らざるを得ない現状があります。今後も定年退職者の活動拠点となり、行政と協働して、大きな活動にしていきたいと考えています。</p> <p>本法人は、放置竹林の整備や里山保全活動を組織ミッションとして、八幡市域において精力的に活動されています。定年後の生きがいづくり・活動場をボランティアに設定することで、より多くの賛同者を得て、活動を充実させている現状を伺うことができます。また、地域との関わりを深めながらも行政に依存することのないよう、非営利組織としての意識も高く持ち、組織的な設えや基盤整備にも注力され、メンバー間の交流や合議による法人運営を推進されている状況も見受けられます。民間財団の助成支援は、事業費や設備費等使用科目が限られているものが多く、メンバーの活動費や管理コストの捻出が難しく課題を抱えられています。法人・組織のミッションや活動状況をより広く公開することで、今後さらに多様な支援・資源を確保されますことを期待し、本社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)において認証しました。</p> | | | |